

(参考様式) (第11条・第13条関係)

意見回答書

作成日2025年1月6日

太陽光発電施設の設置予定場所	長野県飯山市大字旭大平峰8244番
----------------	-------------------

意見 (質問・要望)	陳述者・提出者	回答
計画地の雨水排水はどうか、また下流域への対応は	陳述者	計画地周辺や現在、機能していない既存のU字溝整備を行い排水しますが、それでも下流域に負荷に係るようならばU字溝手前に浸透トレンチを設けて極力場内浸透するように施工します。
下流域の調査はしてあるのか	陳述者	下流域の長沢川・皿川は現在から20年間は大きな災害や氾濫はないが、地滑り地域に指定されており今後、災害は無いとは言えないので、計画地の雨水は出来るだけ抑えるように致します。
計画地の近接する水源への汚染水が流入しないのか	陳述者	遠隔監視装置を設置しモニターでの監視を毎日モニタリングし異常が感知した場合現地調査をしてモジュールの取り換えを速やかに行うためモジュールからの汚染水の流出は無いと考え汚染水の水源への流入は無いと考えます。
自然災害に対する設備への対応	陳述者	実際に過去には強風でパネル等が飛ばされたケースが多数報告されていますが、地域の風速基準・積雪量を基に太陽光の規格 (JIS) で計画すれば飛ばされる可能性は極めて低いと考えられます。 雷に対しては避雷針を建てる予定です。
パネル設置後の場内の管理はどう考えているのか	陳述者	年3回～4回除草作業を行い、除草剤は使用しません。 冬季に関してはロータリー除雪車と人力併用で除雪作業を行います。 外周のフェンスは亜鉛メッキ鉄線系で設置を考えています。
豪雪地帯での管理方法は	陳述者	冬季期間中に計画地へ出向き積雪の状況や特徴を把握し、今後の運営計画を立て除雪者の導入を行い豪雪地帯での管理を徹底します。